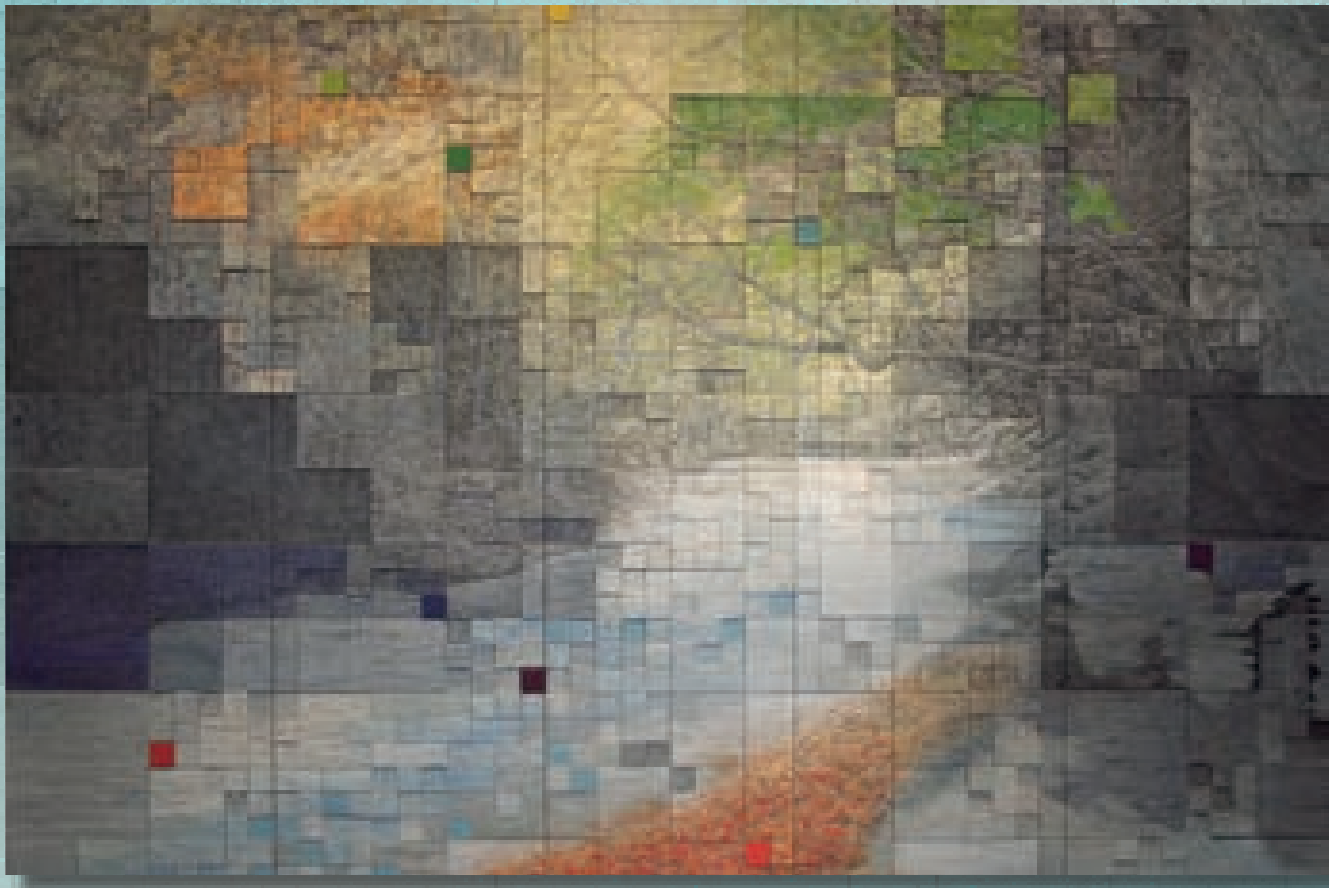


第86期 株主報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで



西部電機株式会社

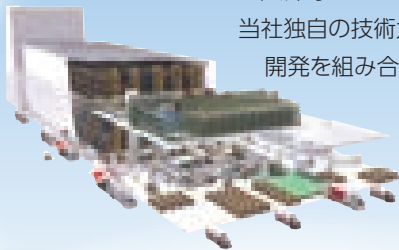
証券コード 6144

西部電機は技術と品質で、 そして独自の創造力で広く世界に貢献いたします。

当社は「超精密とメカトロメーション®の追求」を理念に、
物流マテハンシステム、産業機械、放電加工機、工作機械等、多彩な技術で
明日を拓くメカトロニクスメーカーです。

搬送機械事業

コンパクトで経済的なシステムを構築できる
当社独自の技術力と、ソフトウェア
開発を組み合わせた「総合物流
ソリューション」を
提案しています。



Seibu

産業機械事業

水・電気・ガス・石油などエネルギーを暮らしに導くため大切な役割を担うバルブアクチュエータとゲート駆動装置を提供しています。



精密機械事業

ピッチ加工精度で定評のワイヤ放電加工機、
小物精密部品加工に応えるNC旋盤、自由形状
加工を可能とした切削加工機などを開発して
います。



中期経営計画「チャレンジ240」の達成に向けて 全社を挙げて努力してまいります。



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第86期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

2019年6月

取締役社長 川井 茂雄

Q 当期の業績についてお教えてください。

A 売上高、経常利益とも過去最高を更新しました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いております。しかしながら欧州や中東での政治情勢の不安定な状態に加えて、米国と中国の経済摩擦による中国経済の低迷、イギリスのEU離脱問題などがわが国に影響を及ぼす可能性もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような情勢の中で、当社グループといたしましては、当期から新たな中期経営計画「チャレンジ240」を策定し、活動しております。どのような環境下にあっても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいりました。

その結果、当社グループの連結業績は、受注高は大口物件等がありましたものの、海外向けは減少したため、279億6千3百万円(前期比6.1%減)となりました。売上高は、前期からの受注残と新規顧客の開拓によって、過去最高の292億9千9百万円(前期比27.9%増)となりました。損益においてはコストダウンと経費節減に当社グループ一丸になって注力した結果、経常利益は前年の過去最高を更新して、33億2千8百万円(前期比51.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は22億8千3百万円(前期比51.4%増)となりました。

Q 次期の見通しについてはいかがですか。

A 企業体質の強化と着実な安定成長の確保に努めます。

当社グループといたしましては、危機感をもって経済環境の変化を捉え、チャレンジ精神で新たな市場の開拓を進め、市場競争に打ち勝って行く所存であります。さらには、コストダウンや経費の削減に一層注力し、企業体質の強化と着実な安定成長の確保に努めてまいります。

なお、通期の連結業績見通しとしては、売上高222億円、経常利益15億6千万円、親会社株主に帰属する当期純利益10億8千万円を計画しております。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 当期の期末配当は1株につき10円増配し、25円とさせていただきます。

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。当期の期末配当金につきましては、1株当たり15円を予定しておりましたが、株主の皆様の日頃のご支援にお応えし、より一層の株主還元を図るため、1株につき10円増配し、25円とさせていただきます。この結果、中間配当金15円を含めました当期の配当金は1株につき40円となります。

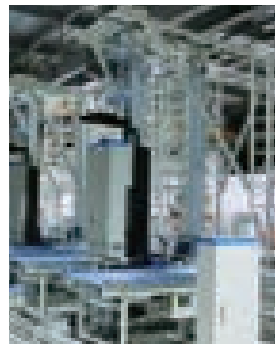
株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

搬送機械事業 自動車業界向け「二次電池検査工程ライン」受注・納入拡大

現在、自動車業界ではHV(ハイブリッド)、PHV(プラグインハイブリッド)、EV(電気自動車)の市場が拡大しています。最大手のトヨタ自動車においても国内販売台数の50%以上がHV、PHVです。その普及の鍵を握るのがリチウムイオンやニッケル水素などの二次電池です。

そのような環境の中、搬送機械事業では、スタックークレーンを利用した「二次電池検査工程ライン」がユーザーに認められ、昨年度は海外も含め4件を納品し、今年度もライン増設で新たな受注も確定しています。中国政府はEV普及政策を打ち出しており、生産は加速することが予想されます。

今後も製販一体となり国内外共々新たな受注に繋げてまいります。



搬送機械事業 「重量物出荷バッファシャトル」の開発・納入



少子高齢化が急速に進展したことを背景に、3K職場の就労定着率がますます悪化し、熟練技術者及び作業人員不足が深刻となっています。

そのような中、搬送機械事業では、省人化を図るため、ロイヤルカスタマから依頼を受け、「重量物出荷バッファシャトル」を開発しました。この機器の特徴は、搬送物が転動できるフリーローラーコンベヤとその上の搬送物を牽引するシャトルのみという構成で、限られた出荷スペースの中、搬送物サイズに合わせてストレージ数を変更し、最大限待機させることができるシステムです。

今後も、ユーザーの要求と期待に応えられるように、工場と物流の自動化に取り組んでまいります。

産業機械事業 国内最大手の製鉄会社からの大型システム受注

産業機械事業では、国内最大手の製鉄会社と2年間の技術革新協議を経て、燃焼切替装置用のバルブアクチュエータシステムを受注しました。受注金額は産機史上最高額である約3億円超えとなります。

燃焼切替装置とは鉄鉱石を溶解させるためのコークス燃料の製錬設備であり、製鉄プラントの心臓部と位置づけられています。今回のシステム導入は、長年主流であった大規模油圧駆動システムから、電動駆動システムへの変更であり、技術革新の大きな一歩となります。この設備パフォーマンスが評価されれば全製鉄所への展開(16基)が期待され、産業機械事業の民需市場の柱となる可能性を秘めています。

事業部一丸となり継続受注獲得に向け邁進してまいります。



産業機械事業 世界市場戦略機種Semflex-VMM(Z)ラインナップ開発



産業機械事業では、海外戦略・国内民需市場拡販に向けたSemflexシリーズに、新たにVMMラインナップを計画しています。特徴は小型、軽量、コンパクト、IP68(水没可能)、ISO規格準拠、世界標準規格IEC準拠、新防爆基準(2015年度版)に対応し、海外市場要求に適合する製品となります。既存モデルLTMD仕様も網羅しており、国内市場で海外製品とバッティングした際の対抗機種としても有効です。

開発要点はメカ式多機能スイッチユニットであり、間欠ギア方式による確実かつ高精度リミット調整・検出精度±5%の高精度なトルク設定を可能とします。

またVMMの上位機種として、外部にバルコン駆動設備が不要なタイプVMM-Zをラインナップする予定です。VMM-Zは海外市場からの多く引き合いを頂いており拡販が期待されます。

精密機械事業 エアー静圧主軸仕様SFG-28の開発

精密機械事業工作機械部門では、従来のベアリング仕様の主軸台の回転精度を更に向上させた研削加工向けのエアースタティック主軸台を新たに開発しました。既に旋盤向けに開発していたエアースタティック主軸台の軸剛性を向上し、モータをサイズアップし、真円度に影響するカップリング部を改良した結果、研削加工において真円度 $0.07\mu\text{m}$ を達成しました。これは、従来の主軸台の1/2の精度であり、円筒度、同軸度などの精度も向上しました。

現在、成長分野のレンズ業界からも受注を頂いており、今後受注が拡大するよう更なる精度アップを目指してまいります。



精密機械事業 精密機械事業部第2工場が稼働

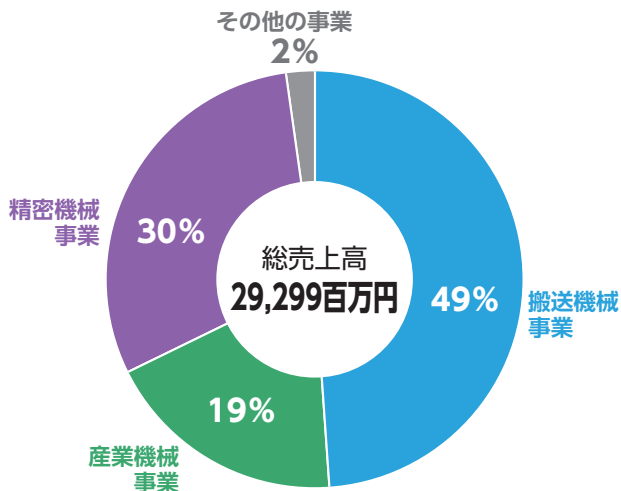


精密機械事業では、中国のスマートフォン市場や自動車関連等の成長により、ワイヤ放電加工機の受注が拡大し、月産70台の生産を進めてまいりました。アメリカと中国の貿易摩擦の懸念もありますが、今後の急な受注増に対応するため、新たに工作機械製造専用の精密機械事業部第2工場を建設いたしました。

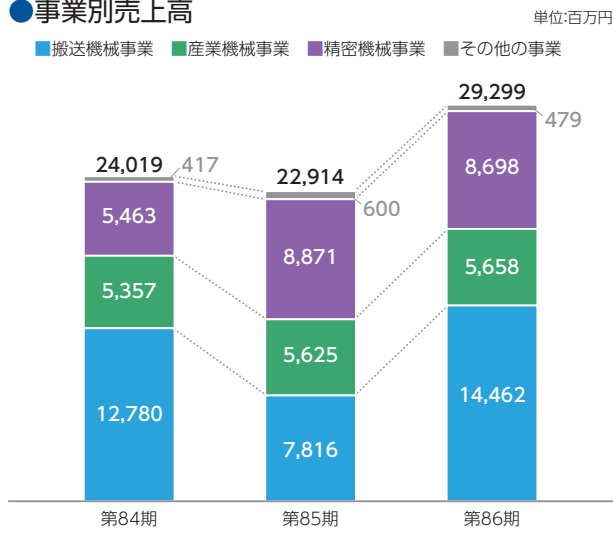
また、今までの精密機械事業の工場をワイヤ放電加工機製造専用の精密機械事業部第1工場とし、精密機械事業の工場面積は約1.5倍となり、ワイヤ放電加工機と工作機械ともにこれまでの約1.5倍の生産が可能となりました。

主要な事業別営業の概況 *Operating Overview*

●事業別売上高構成比



●事業別売上高



搬送機械事業

売上高 **14,462**百万円

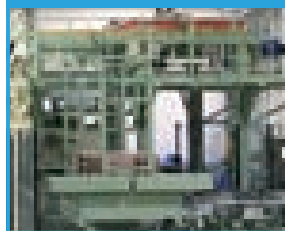
(前期比 85.0%増)

搬送機械事業では、大口顧客・既存顧客のシェアアップに注力したことによるリピート受注や製造業の生産・物流分野などに最適なソリューション提案を行い、さらにはサービス・メンテナンス分野にも注力した結果、受注高は136億3千3百万円(前期比3.4%増)、売上高は前期からの受注残もあり、144億6千2百万円(前期比85.0%増)となりました。

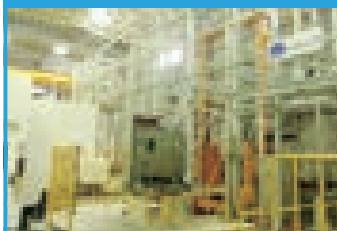
主要製品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクスマテハン

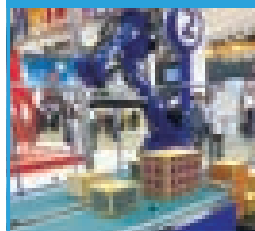
ケース自動ピッキングシステム(高速フェースピッカー)



FAシステム(DIOシステム)



ロボティクス・マテハンシステム(回転パレットロボ)



産業機械事業

売上高 **5,658**百万円

(前期比 0.6%増)

産業機械事業では、民需へのアプローチが成果を上げ、サービス・メンテナンス分野も好調に推移した結果、受注高は60億9千2百万円(前期比7.5%増)、売上高は56億5千8百万円(前期比0.6%増)となりました。

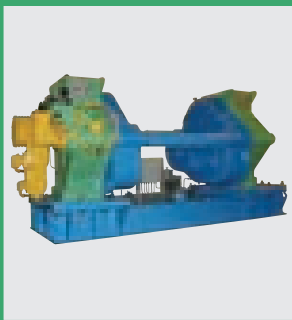
主要製品

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置

バルブアクチュエータ・プラント



ゲート駆動装置(大型60t)



精密機械事業

売上高 **8,698**百万円

(前期比 2.0%減)

精密機械事業では、国内は地域密着型営業を展開し、新規顧客の開拓に努めましたが、海外は後半から中国向けの商談が減少して、受注高は77億7千2百万円(前期比24.5%減)、売上高は86億9千8百万円(前期比2.0%減)となりました。

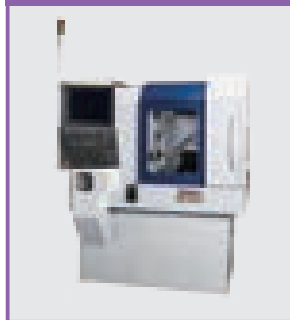
主要製品

- 超精密・高精密ワイヤ放電加工機
- 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様)
- 高精密小形NC旋盤
- 正面旋盤

超精密ワイヤ放電加工機(MEX15)



高精密自由形状内面研削盤(SFG-35P/HP/UP)



連結財務諸表(要約) ・ Financial Statements

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

連結貸借対照表

科 目	第86期	第85期	科 目	第86期	第85期
	2019年3月31日	2018年3月31日		2019年3月31日	2018年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	24,100	23,280	流動負債	13,146	12,997
現金及び預金	10,577	11,334	支払手形及び買掛金	2,212	2,249
受取手形及び売掛金	10,337	8,899	電子記録債務	7,403	5,880
仕掛品	1,127	960	短期借入金	416	620
原材料及び貯蔵品	1,967	1,715	未払費用	1,627	1,458
その他	93	374	前受金	192	1,970
貸倒引当金	△2	△3	未払法人税等	752	635
固定資産	15,028	15,405	役員賞与引当金	91	62
有形固定資産	10,103	9,445	受注損失引当金	—	3
建物及び構築物	3,990	3,525	その他	449	116
機械装置及び運搬具	904	694	固定負債	3,648	4,174
土地	5,006	5,006	長期借入金	—	336
建設仮勘定	0	0	長期未払金	99	101
その他	201	217	繰延税金負債	—	115
無形固定資産	24	9	再評価に係る繰延税金負債	1,477	1,477
投資その他の資産	4,900	5,950	役員退職慰労引当金	14	20
投資有価証券	3,855	4,959	製品保証引当金	849	947
長期貸付金	29	29	退職給付に係る負債	1,133	1,080
退職給付に係る資産	722	654	その他	74	94
繰延税金資産	233	42	負債合計	16,794	17,171
その他	94	300	純資産の部		
貸倒引当金	△35	△35	株主資本	17,069	15,361
			資本金	2,658	2,658
			資本剰余金	2,616	2,616
			利益剰余金	11,798	10,091
			自己株式	△4	△4
			その他の包括利益累計額	5,265	6,153
			その他有価証券評価差額金	1,912	2,696
			土地再評価差額金	3,363	3,363
			退職給付に係る調整累計額	△10	92
資産合計	39,129	38,686	純資産合計	22,334	21,514
			負債純資産合計	39,129	38,686

■ 連結損益計算書

科 目	第86期	第85期
	2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	29,299	22,914
売上原価	21,432	16,507
売上総利益	7,867	6,407
販売費及び一般管理費	4,668	4,266
営業利益	3,198	2,141
営業外収益	143	92
営業外費用	13	30
経常利益	3,328	2,202
特別利益	0	0
特別損失	1	33
税金等調整前当期純利益	3,327	2,169
法人税、住民税及び事業税	983	725
法人税等調整額	60	△64
当期純利益	2,283	1,508
親会社株主に帰属する当期純利益	2,283	1,508

■ 連結包括利益計算書

科 目	第86期	第85期
	2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
当期純利益	2,283	1,508
その他の包括利益	△887	1,146
包括利益	1,395	2,654

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第86期	第85期
	2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	850	4,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△465	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,142	△237
現金及び現金同等物の増減額	△756	3,784
現金及び現金同等物の期首残高	11,194	7,409
現金及び現金同等物の期末残高	10,437	11,194

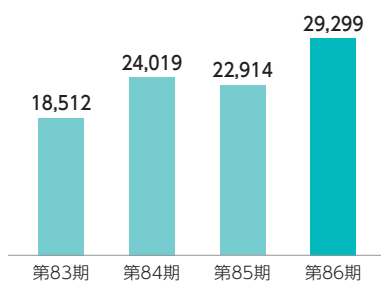
■ 連結株主資本等変動計算書

第86期 2018年4月1日から2019年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益 累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	2,658	2,616	10,091	△4	15,361	6,153	21,514
当期変動額							
剰余金の配当			△575		△575		△575
親会社株主に帰属する当期純利益			2,283		2,283		2,283
自己株式の取得				△0	△0		△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△887	△887
当期変動額合計	—	—	1,707	△0	1,707	△887	819
当期末残高	2,658	2,616	11,798	△4	17,069	5,265	22,334

科 目	第83期 2015年度	第84期 2016年度	第85期 2017年度	第86期 2018年度(当連結会計年度)
売上高 (百万円)	18,512	24,019	22,914	29,299
経常利益 (百万円)	1,338	1,595	2,202	3,328
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	817	408	1,508	2,283
1株当たり当期純利益	53円99銭	26円96銭	99円56銭	150円71銭
総資産 (百万円)	31,397	31,229	38,686	39,129
純資産 (百万円)	18,226	19,072	21,514	22,334
1株当たり純資産額	1,203円05銭	1,258円89銭	1,420円12銭	1,474円24銭
自己資本比率 (%)	58.1	61.1	55.6	57.1

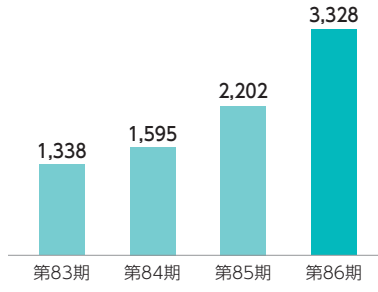
売上高

単位：百万円



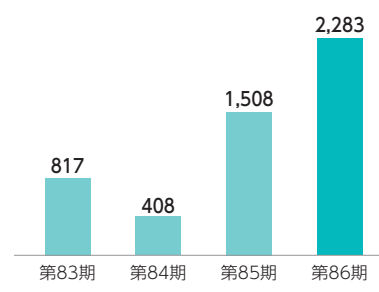
経常利益

単位：百万円



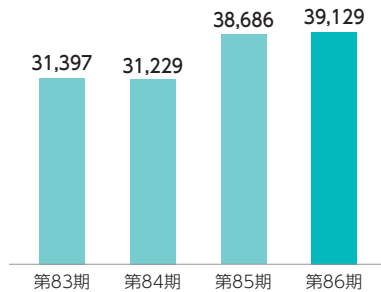
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



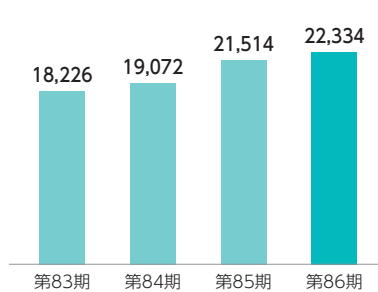
総資産

単位：百万円



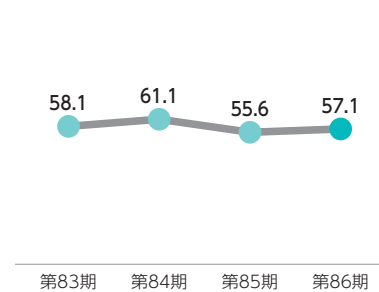
純資産

単位：百万円



自己資本比率

単位：%



(注)「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第86期連結会計年度より適用しているため、それ以前の連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を選り適用した後の指標等となっております。

2019年3月31日現在

会社の概況

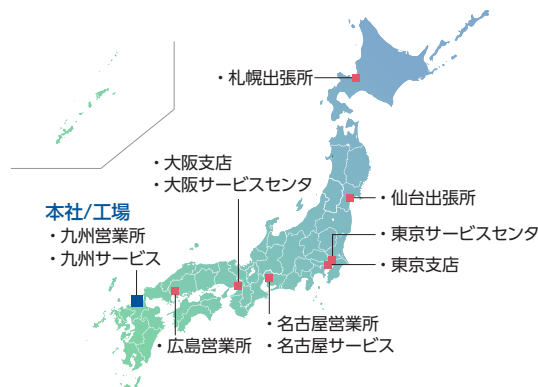
商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	1939年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	442名(連結494名)

役員

2019年6月27日現在

取締役社長(代表取締役)	宮地 敬四郎
専務取締役	藤岡 敬正
常務取締役	税所 幸一
取締役	中里 晋也
取締役	溝田 安彦
取締役	塩川 秀樹
取締役	佐藤 徳生
社外取締役	井上 信之
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	大塚 丈徳
社外監査役	岸川 浩幸

事業所



株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	3,119名

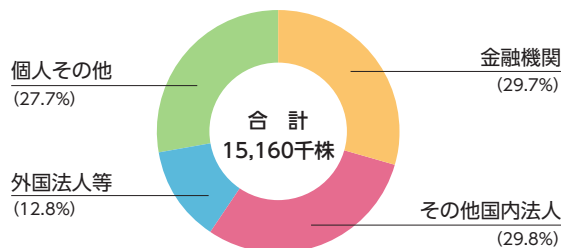
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,547	10.2
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,333	8.8
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
株式会社三菱UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
MSIP CLIENT SECURITIES	541	3.5
西部電機従業員持株会	402	2.6

(注) 1. 持株比率は自己株式(10,208株)を控除して計算しております。

2. シンプルクス・アセット・マネジメント株式会社から2017年8月24日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、2017年8月17日現在同社が3,303,900株(保有割合21.79%)を保有している旨が記載されております。しかし、当社として当事業年度末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別株式分布状況

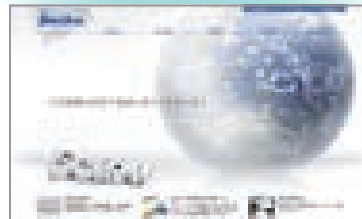


■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(https://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<https://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合【特別口座の株主様】
お問合せ先	お取引の証券会社等になります。 (ただし、支払明細発行については、右記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。)	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所、プラネットブース (株式会社みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いたします。(みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	

株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度の概要	(1) 対象となる株主様	3月末現在の株主名簿に記載された当社株式 1単元(100株)以上保有の株主様。
	(2) 優待内容	保有株式数100株以上でクオカード1,000円分を 進呈いたします。
	(3) 贈呈時期	定時株主総会終了後の6月下旬の発送を予定して おります。



表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬深流の四季をモチーフに「自然随順」を表現しております。当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。